

第3期栗東市障がい者基本計画の 取り組み状況について

1 理解と交流の促進

障がい理解のための啓発活動の充実

【障がい福祉課】

1 2月号広報 障がい者週間 障害者差別解消法、合理的配慮等

1 2月3日 人権文化事業会場内で障がい者週間の啓発

【人権擁護課】

じんけん啓発紙『りっとう～じんけん便り～』（第5号・テーマ：障がいのある人）2～3月

障がいのある人を取り巻く様々なバリア、心のバリアフリー化等

【商工観光労政課】

企業内人権研修会にて「職場のメンタルヘルス対策」をテーマに実施。

1 理解と交流の促進

障がい理解のための啓発活動の充実

【広報課・障がい福祉課】

社会福祉法人パレット・ミルさん協力

「馬のまち」×「障がい福祉」について新採研修、密着動画を作成して障がい理解を深める。

- ・ 動画を通じて障がいのある人の仕事や生活について知ってもらう。
- ・ 「馬のまち」とコラボすることで、障がい福祉にあまり関心のない人にも知ってもらうきっかけにできる。

1 理解と交流の促進

交流の場・機会の確保

【障がい福祉課】

- 8月3日 心身障がい児者レクリエーションスポーツ大会、7月、11月にボウリング大会開催。延べ515名が参加。
- ・ 龍谷大学との包括連携協定の取り組みとして、龍大生のボランティアが参加しました。

地域の関係機関との連携

【障がい福祉課】

大宝、治田、治田東、治田西学区民生委員児童委員定例会での障がい福祉（視覚障がい、成年後見制度）、自殺対策（ゲートキーパー研修）についての研修会を開催。

1 理解と交流の促進

ボランティア人材の育成

【障がい福祉課】

○ 1 1 月 視覚障がい者生活行動訓練で近江八幡市へ
参加者18名（視覚障がい者8名、ボランティア10名）

今年度は、視覚障がいの手帳所持者へ個別案内、市LINEでのボランティア募集を行いました。

3. 生活支援の充実 関係機関の連携強化（庁内）

自殺対策連絡会（障がい福祉課主催）

関係課で自殺の現状、市の自殺対策の取り組みについて情報を共有しました。

下記の関係課主催の会議に出席し、連携強化を図りました。

- ・ 要保護児童対策地域協議会
- ・ 重層的支援体制整備事業体制推進会議
- ・ 栗東市子ども・子育て支援に関する関係課会議
- ・ 栗東市就労支援事業推進会議

3. 生活支援の充実 関係機関の連携強化（関係機関）

○自立支援協議会（別紙資料あり）

○（委託）障害者相談支援事業所との定例会

守山・栗東障害者生活支援センターみらいく（月1回程度）、精神障害者地域生活支援センター風（月1回）と定期的に情報共有の場を設け、ケースの情報共有を行いました。

○地域包括支援センター、基幹相談支援センターとの懇談会

高齢の障がい者への支援、介護保険制度への移行などについて意見交換をしました。

3. 生活支援の充実 関係機関の連携強化（湖南地域）

湖南地域（4市）での協議の場への出席をし、地域課題の共有、解決に向けて検討しました。

- ・ 湖南地域自立支援協議会、滋賀県自立支援協議会
- ・ 進路部会・作業部会
- ・ 行動障害支援ネットワーク
- ・ 重症心身障がい児者・医療的ケア児等支援推進チーム会議
- ・ 湖南圏域精神保健医療福祉に対応した地域包括ケアシステム推進協議会
- ・ 地域生活支援拠点担当者会議、プロジェクト会議
- ・ **就労選択支援（令和7年10月から）に向けた検討会**
- ・ 湖南地域成年後見制度利用促進協議会

3. 生活支援の充実 手話の普及啓発

【障がい福祉課】

○6月～1月 手話講座（基礎課程）

受講者15名（修了者14名）全28回

栗東市聴覚障害者協会、手話サークルのみなさんにご協力いただきました。入門課程（R5）の続きで基礎課程（R6）を受講される方が12名おられました。

・講座の開催時間について、夜に実施していましたが、日中活動が可能な方に受講していただけるように、令和7，8年度は、金曜日の10時～12時に予定しています。

【人権擁護課】

12月3日の人権文化事業の会場（さきら）で、市長、副市長、市議会議員が1人ずつ手話であいさつやありがとうなどを表現した動画を流しました。

3. 生活支援の充実 手話通訳者、要約筆記者の派遣

○延べ派遣件数 140件

- ・個人の依頼の内容は、医療（受診など）が一番多く占めています。
- ・個人からの申請の他、市主催や関連団体主催の大会や後援会などでの依頼があります。
- ・要約筆記については、イベント等の依頼はありますが、個人の派遣依頼は今年度は0件でした。

○登録手話通訳者の意見交換会・研修会

年1回、市の登録手話通訳者との事業に対する意見交換会を行っています。また、今年度から地域のろう者にご協力をいただき、研修会も実施しました。（3月3日実施）

3. 生活支援の充実

多様なコミュニケーション手段の理解、及び利用促進の取組

○市職員研修

【人事課・障がい福祉課】

人権応用研修として障がいの理解と多様なコミュニケーション手段について市職員が学ぶ場を設けています。

令和4年度 手話、聴覚障がいについて

令和5年度 難聴、要約筆記について

令和6年度 知的障がい・発達障がいについて

知的障がいや発達障がいの特性を疑似体験し、コミュニケーションの取り方のポイントなどを教わりました。

令和7年度については、視覚障がいについての研修をする予定です。

3. 生活支援の充実

市の広報紙等の点訳・音訳

【広報課、議事課、社会福祉協議会】

関係課合同による点訳・音訳ボランティア等との意見交換会を10月に開催し、さらに充実した取り組みができるよう協議を行いました。

障がいのある人の身近な相談支援

【障がい福祉課】

心身障がい者相談員

心身障がい児者連合会からの推薦で15名の相談員を委嘱しています。県主催の研修会への参加により質の向上を図りました。

身体障害者相談員…特殊詐欺についての研修と各市相談員の意見交換会に参加しました。知的障がい者相談員…3名参加。親なき後の経済的な問題についての研修に参加しました。

3. 生活支援の充実

成年後見制度の周知・利用促進

【障がい福祉課・長寿福祉課】

制度の啓発、後見申し立て支援などについて、NPO法人成年後見センターもだまに委託して実施して事業を実施しています。

○出張相談会…2回（市役所）

○なんでも相談会…1回（場所は湖南4市で持ち回り。R6は栗東市で開催）

なんでも相談会は、相続や引きこもりなど、成年後見制度に限らず受けることから、相談される方が多かった。一方で、出張相談会は相談される方が少なく、関係者（支援者）などからの相談がメインとなっている。

今年度は、担当者会議にて、成年後見センターもだまの相談員の人員体制の整備について検討。

4 学習機会の充実と社会参加の促進

だれもが参加できる公開講座・セミナーの開催

【障がい福祉課】

庁内各課に向けて、公開講座等の開催の当たって、手話通訳・要約筆記の利用をしてもらうよう呼びかけています。

【人権擁護課】

7月に開催したじんけんセミナー栗東、12月に開催した人権文化事業では、手話通訳・要約筆記対応を行いながら、講演会を開催しました。

12月の人権文化事業では、手話を活用した動画での啓発や開会行事を行いました。

5. 就労の促進

【障がい福祉課】

就労部会に参加することで、関係機関との連携の強化する機会となりました。

○就労部会（奇数月：年4回）

情報共有、ケース検討、企業への視察
研修「就労選択支援事業について」

○商工観光労政課や働き暮らし応援センターりらく等と連携しながら、適切な就労支援につなげました。

6 生活環境の整備 防災体制の充実

【社会福祉課】

避難行動要支援者からの申請情報を基に避難支援プランを作成し、自治会や民生委員児童委員、その他関係機関等と情報共有を行いました。

個別避難計画の策定に向け、課内で検討を行うとともに、他市の情報を収集しました。

【障がい福祉課】

個別避難計画の策定に向け、県主催の計画推進会議に参加し、他市の取り組みについて、他市担当者との情報交換を行いました。

次年度の取り組み（新たなもの）

○第4期障がい者基本計画、第8期障がい福祉計画（第3期障がい児福祉計画）の策定（R7～R8）

令和9年度からの計画策定に向けて見直しを行います。

○医療的ケア児コーディネーター設置に向けた協議

※医療的ケア児コーディネーターとは？

医療的ケア児等が地域で安心して暮らしていけるよう、医療・福祉等の各種支援を総合的に調整する人のことです。

広域での設置を目指しています。

次年度の取り組み（その他）

○高齢障がい者の介護保険制度への移行会議の開催

長寿福祉課や地域包括支援センター、基幹相談支援センターみらいくと連携して、障がい福祉サービスの利用から介護保険サービスの利用へ移行する会議を定期的に行い、スムーズに移行ができるようにする。

○日常生活用具の給付項目の見直し

近隣市との協議を経て、今年度はストマ装具の基準額の見直し等を行いました。次年度も引き続き、給付項目や基準額の見直しに向けて協議を進めます。